

歴史ウォーキング history

養源院

本堂は、元和5年(1619年)に破却された伏見城の殿舎を移築したもので、**左右と正面の廊下の天井は血天井**として知られています。血天井とは、関ヶ原の戦いの前哨戦ともいわれる**伏見城攻防戦**で鳥居元忠以下1000人余りが城を死守し、最後に自刃した廊下の板の間を**供養のために天井とした**もので、武将達の遺体は残暑の残る8月~9月中旬まで放置されていたと言われ、そのため**今も生々しい血の痕が**あちこちに残っています。同じ血天井は**宝泉院・正伝寺・源光庵**にもありますが、**生々しさでは養源院が一番**といわれています。



語源

礼儀作法を教える身につけさせること。また、その礼儀作法をいいます。犬や猫のペットの教育も「しつけ」といいます。語源は、仏教語で「習慣性」を意味する「じつけ(習気)」が一般に広まる過程で「しつけ」に変化し、「作りつける」の意味の動詞「しつける(しつく)」の連用形が名詞化した「しつけ」と混同され、成立した語です。裁縫では、縫い目を正しく整えるためにあらかじめ荒く縫うことを「しつけ(仕付け)」ということからや、田畑に作物を植えることを「しつけ(仕付け)」ということからなどもいわれていますが、混同された要因の一部にすぎません。漢字の「躰」は、しつけの対象を礼儀作法に限定する武家礼式の用語として生まれた国字で、この頃から「仕付け」が別の語と意識されるようになりました。「躰」には、身(体)を美しく飾る意味があり、「身」に「花」という漢字も作られました。

京都市東山区にある**浄土真宗**遣迎院派の寺院。蓮華王院(三十三間堂)の東向かいに位置します。養源院の寺名は**浅井長政の院号**から採られたそうです。文禄3年(1594年)に豊臣秀吉の側室・**淀殿**が**父・浅井長政の供養のために**秀吉に願って**成伯法印(長政の従弟で比叡山の僧)を開山として創建**。その後、元和5年(1619年)火災により焼失しますが、元和7年(1621年)徳川秀忠の正室・**崇源院(淀殿の妹)の願いにより再興**されました。

浅井長政は、天文14年(1545年)に**浅井久政の嫡男**として現在の滋賀県安土町で生まれます。1560年代(時期未確定)、織田信長は斎藤氏との膠着状態を打破するため、**長政と同盟を提案**。同盟の条件は浅井側に有利でしたが、浅井家臣の中では賛否両論。最大の問題は、盟友である**朝倉義景と信長の歴史的な不仲**。最後は長政の決断によって批准し、「**同盟がある限り、織田は朝倉に進軍せず**。」との条件を付した上での**同盟**だと言われています。同盟の際、長政は**信長の妹の市を妻**としました。信長は大いに喜び、信長自身が婚姻の費用を**全額負担**したとされています。元亀元年(1570年)、信長が長政と交わした「**朝倉への不戦の誓い**」を破り徳川家康と共に越前の朝倉方の城を攻めます。長政は義景との同盟関係を重視し、**信長と敵対**。天正元年(1573年)ついに本拠の小谷城(滋賀県湖北町)が織田軍に囲まれます。信長は長政を高く評価していたようで、**一気に進撃せず、何度も降伏勧告**を行いました。長政は断り続け、**最終勧告も決裂**。長政と仲睦まじかった正室の市は運命を共にする決意でしたが長政から諫められ、帰還を決意。同年9月1日(9月26日)、**父の久政と共に自害**。享年29でした。

お手入れ

お家のお手入れは「家」を長持ちさせる最大のコツです！

今月は**結露**についてです。結露とは…室内の温かい空気が冷たい窓表面に触れることで、空気が冷やされ、同時に水蒸気含有量限度も低下するため、限度を越えて空気中にとどまれなくなった水蒸気が窓表面に水滴としてあらわれたモノ。空気中の湿度が低ければ、温度差が激しくて水蒸気含有量限度が一気に低下しても限度内におさまリ、結露は発生しません。また窓と室内との温度差自体が小さければ結露発生を抑えることができます。

結露発生には温度差と湿度という2つの点をどうコントロールするかがポイント！

窓の結露には室内でいち早く水滴を発生させ、余分な湿度が壁や木材など他のものに**影響するのを防ぐ**働きもありますが、**カビの繁殖やアレルギーの原因、窓枠などの木材の腐食**なども考えられます。冬場は石油ファンヒーターやガスヒーターなど燃費のいい暖房器具が活躍しますが、**湿度が上昇しやすい**という側面もあり、結露の原因にも**石油だと1リットルの消費で1リットルの水蒸気が発生！**湿度が気になる場合は、**エアコンに切り替えるなどの対策がオススメ！**また石油・ガスヒーターも**室外排気型なら、湿度上昇もかなり抑える**ことができます。結露対策ばかりに目をやりすぎて、**部屋を過度に乾燥させた状態にするのももちろん問題！**乾燥は肌や粘膜などのうるおいも奪ってしまい、**風邪や肌荒れなどの原因に！** **適度な湿度を維持する事が重要！**

対策としては、**ガラスとガラスの間に熱伝導が小さい空気を挟むことで耐熱効果を高めた【耐熱ガラス】**。ホームセンターなどでよく売っている**窓用断熱シートも効果的！**窓表面に張るもので、二重窓と同じように空気の層を作ることで熱伝導を少なくして結露を抑える効果を発揮します。**断熱シートは窓内側よりも外側に張る方が効果的！**建物の構造上、雨にあたらぬ場合は、外側に張るのも一つの手段です。他にも窓の内側に**取り付けられる断熱サッシ**がありますので、何かお悩みがあれば、当社へご相談ください。温度と湿度の関係も微妙です！簡単にはいかないかもしれませんが、工夫をしながら快適に、大切な家が長持ちするようにしてください！

★最新情報★

今回は今年の4月から施工されている**リフォーム減税**についてお知らせします。

平成21年度から、一定のリフォーム工事について、**ローンを組まずに自己資金で行っても所得税の還付が受けられる減税制度(投資型減税)**が導入されました。現在利用できる住宅リフォームに関する減税制度について、詳しくはHPをご覧ください。http://www.refonet.jp/csm/info/fund/tax_reduction/index.html
「**耐震リフォーム**」、「**バリアフリーリフォーム**」、「**省エネリフォーム**」は一定の要件を満たしていれば、これらのリフォームをすることで、「**所得税の控除**」や「**固定資産税の減額**」を受けることができます。**住宅リフォーム減税(住宅ローン減税)**は、一定の省エネ改修(窓の断熱工事やエアコン取り換えなどの工事)(同時に設置する太陽光発電装置の工事を含みます)又はバリアフリー改修工事を行った場合に、その標準的な工事費用と実際の工事費用の額とのいずれか少ない金額の10%をその所得税から控除する(最大控除可能額は20万円、太陽光発電装置設置の場合には30万円)というもので、平成22年12月31日まで適用されるそうです。「**耐震補強**」については、**耐震診断や耐震設計それに耐震補強工事**についても各市町村で異なりますが、**補助金**を出しています。地震に対する備えに心配のある方は一度相談してみたいかがでしょう。「**省エネリフォーム**」の中には**エアコン取り換え工事**も含まれているので、窓の断熱性を高める後付け断熱サッシ取り替えと合わせてご検討してみたいかがでしょうか？「**バリアフリーリフォーム**」は**ユニットバス入れ替えの時に是非ご相談**ください。これらの減税や補助金には**個々に制約や条件があります**のでまずは当社にご相談頂ければ正確に調べてベストな提案をさせていただきます。



オール電化イベント

オール電化機器の良さを、実際に見て触れていただけるイベントをたくさんご用意して皆さまをお待ちしております。

開催日 3日(火)、10日(火)、24日(火)、29日(日)
レシビ 吹き寄せ揚げ・帆立の菊菜椀 etc...
時間 10:30~13:30
締切 定員になり次第締め切りとさせていただきます。
参加費 1000円(税込み) 無料

当社へお声をかけて頂ければ、**無料招待状**をお渡しいたします。
興味がある方は、一度ご連絡ください。
その他、イベントも盛り沢山！！
IHを体験してください！

子育て世代応援住宅 株式会社 寺本工務店 代表取締役 寺本光雄

大阪府富田林市北大伴町1丁目3-14

TEL 0721-25-1893 FAX 0721-25-1896